

問1 紀元前5世紀頃のアテネなど、古代ギリシャの都市国家で見られた政治の仕組みについて、その特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。
2. 河川の治水を目的とした強力な王権のもとで、官僚による中央集権的な政治が行われていた。
3. カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度があり、特定の身分のみが政治を独占していた。
4. 広大な領土を統治するために、各地に知事を派遣して徴税を行う仕組みが整えられていた

問2 日本の古代文化において、遠く離れたギリシャ文化の影響が指摘されることがあります。法隆寺の建築様式や金堂壁画に見られる、ギリシャ文化とオリエント文化が融合した文化の影響について、その伝播の経緯を説明したものとして適切なものを選んでください。（2022年 岐阜公立入試 類似）

1. アレクサンドロス大王の遠征を契機に生まれた文化が、中央アジアの仏教美術に取り入れられ、シルクロードを経て日本へ伝わった。
2. 遣隋使や遣唐使が地中海沿岸まで直接渡航し、古代ギリシャの写実的な彫刻技法や絵画技法を直接日本に持ち帰った。
3. 十字軍の遠征によってヨーロッパに伝わったオリエントの技術が、大航海時代の宣教師によって飛鳥時代の日本へ紹介された。
4. 唐の時代に完成した水墨画の技法が、ギリシャの遠近法と偶然一致したことで、日本の寺院建築の装飾として採用された。

問3 ローマ教皇を頂点とするキリスト教の宗派で、中世ヨーロッパにおいて、教会の組織を通じて政治や人々の生活など、社会のあらゆる面に多大な影響力を及ぼした組織を何とといいますか。（2021年 徳島公立入試 類似）

1. カトリック
2. プロテスタント
3. 正教会
4. 仏教

問4 日本の原始・古代における4つの代表的な資料（打製石器、青銅器、埴輪、和同開珎）を、出現した時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎
2. 打製石器 → 埴輪 → 青銅器 → 和同開珎
3. 青銅器 → 打製石器 → 埴輪 → 和同開珎
4. 打製石器 → 青銅器 → 和同開珎 → 埴輪

問5 群馬県にある岩宿遺跡の発見は、日本史の研究において非常に重要な意味を持っています。この遺跡が発見されるきっかけとなった出来事と、それによって明らかになった当時の状況の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 京都公立入試 類似）

1. 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。
2. 大規模な水田遺構が発見され、縄文時代から本格的な稲作が始まっていたことが証明された。
3. 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見され、当時の日本が中国の王朝と交流していたことが判明した。
4. 人物や動物をかたどった埴輪が大量に出土し、強力な権力を持つ王が存在していたことが判明した。

問6 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけにより、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪還することを目的に組織された軍隊を何とといいますか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 十字軍
2. 宗教改革
3. 異端審問
4. ルネサンス

問7 11世紀後半のヨーロッパにおいて、ローマ教皇を中心とするカトリック教会の勢力が拡大したことを背景に、教皇がヨーロッパの国王や貴族に呼びかけて始めた、聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還しようとする軍事行動を何とといいますか。（2021年 徳島公立入試 類似）

1. 十字軍
2. 宗教改革
3. ルネサンス
4. 大航海時代

問8 中国の春秋戦国時代という社会の混乱期において、親族間の情愛を基本とする「仁」の心を重視し、道徳によって国を治めるべきだと説いた思想家は誰か。（2022年 鳥取公立入試 類似）

1. 孔子
2. 老子
3. 孟子
4. 朱子

問9 紀元前3世紀に中国を初めて統一した秦の始皇帝が行った政策について、その内容として正しいものはどれですか。（2017年 大阪公立入試 類似）

1. 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。
2. シルクロードを通じた西方との貿易を独占し、仏教を国教とした。
3. 科挙の制度を整え、家柄にとらわれず優秀な人材を官吏として採用した。
4. 文字や貨幣の統一を禁じ、各地の伝統的な文化や経済の自立を促した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 労働を奴隷に依存する社会構造のもと、市民が直接話し合いに参加する政治が行われていた。	古代ギリシャの都市国家（ポリス）であるアテネでは、成人男性市民が民会に出席して直接政策を決定する直接民主政治が行われました。この市民による政治参加を支えていたのは、生産労働に従事していた奴隷の存在です。この仕組みは現代の民主政治の起源とされています。
問2	答え 1 アレクサンドロス大王の遠征を契機に生まれた文化が、中央アジアの仏教美術に取り入れられ、シルクロードを経て日本へ伝わった。	ヘレニズム文化は、ギリシャ文化が東方へと広がる中で現地の文化と混ざり合い、ガンダーラ美術などの仏教美術に大きな影響を与えました。これが中国や朝鮮半島を経由し、仏教とともに日本へ伝わったため、法隆寺の金堂壁画や柱の膨らみ（エンタシス）などに、遠く離れたギリシャ文化との共通点が見られることになりました。これは当時の日本が国際的な文化交流のネットワークの終着点であったことを示しています。
問3	答え 1 カトリック	中世ヨーロッパでは、ローマ教皇を首長とするカトリック教会が精神的な支えとしてだけでなく、政治的にも大きな権威を持っていました。これに対し、16世紀の宗教改革以降に誕生した宗派をプロテスタント、ビザンツ帝国を中心に発展した宗派を正教会と呼び、区別されます。
問4	答え 1 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎	日本の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。次に、弥生時代になると大陸から稲作とともに青銅器などの金属器が伝わりました。その後、古墳時代には古墳の周囲に並べるための埴輪が作られるようになり、奈良時代に入ると律令国家の形成に伴い、唐の貨幣にならった和同開珎が鑄造されました。この変遷は、生産技術の向上や国家体制の整備の過程を反映しています。
問5	答え 1 相沢忠洋が火山灰の地層から打製石器を発見し、更新世の日本列島に人が居住していたことが証明された。	岩宿遺跡の発見以前は、日本列島の歴史は縄文時代から始まると信じられていました。相沢忠洋が関東ローム層という更新世（氷河時代）に堆積した地層から打製石器を見つけたことで、土器出現前の古い時代に人類が活動していた証拠となりました。他の選択肢にある水田は弥生時代、金印や埴輪はそれ以降の時代の特徴です。
問6	答え 1 十字軍	聖地エルサレムの奪還を目的として、11世紀末から約200年にわたって派遣された軍事遠征の名称です。この遠征の結果、ヨーロッパの人々がイスラム世界の高度な文化に触れることとなり、その後の地中海貿易の活発化や、中世ヨーロッパ社会の変容に大きな影響を与えました。
問7	答え 1 十字軍	11世紀末、ローマ教皇の権威が高まった時期に、キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から取り戻すための軍事遠征が提唱されました。この遠征軍は十字軍と呼ばれ、中世ヨーロッパの政治や経済、さらにはイスラム文化との交流に大きな変化をもたらす要因となりました。
問8	答え 1 孔子	春秋戦国時代の諸子百家の一人であり、武力による統治ではなく、礼節と「仁」の心に基づいた道徳政治を提唱しました。彼の教えは後に「儒教」としてまとめられ、日本を含む東アジア諸国の政治理念や道徳観に深く浸透することとなりました。
問9	答え 1 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。	始皇帝は、中国を統一した後に北方民族である匈奴（きょうど）の侵入を警戒し、それまで各地の国々が築いていた城壁をつなぎ合わせて大規模な万里の長城を修築しました。また、中央集権体制を強めるために、それまでバラバラだった文字、貨幣、度量衡（重さや長さの単位）を統一する政策を断行しました。